



浄心堂乃次才目録

一 樂の事

一 浄心乃くんの事 同座の事

一 浄馬乃事

一 浄紙乃事

一 浄衣物の事 同座引おそめく

一 浄おまへへの事を太刀の事

一 浄おまへくさけの事

一 浄らんを乃事



七日 樂

芳さくら

あんくら

せんくら

せんくら

せんくら

せんくら

せんくら

せんくら

せんくら

地下一人

あまの

中流

あすの

せんくら

あまの

あまの

あまの

あまの

七日 樂

大正 見物 鳥丸 九条 押

現築は懐紙のくさし人の同座の事

冷泉中の

三原元 鳥丸替の時



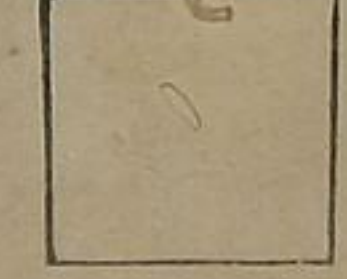
八条殿 八条殿

尾羽大納 尾羽大納



せいのいん  
 二人 二辻信俊 西洞院信俊  
 一人 ちか  
 二人 ちか  
 せんごうらく  
 是ハやくちりりあり

七日衆 うんれいごう



冷泉中納言

三條右 鳥丸警衛尉人前

観望ノ懐紙ノ...

一入 八条殿

尾羽大納言  
 紀伊大納言  
 水戸大納言

大契遊幸 清製

唐此多も柳へ義兵此はくかり代りありあり

尾羽大納言源義直

くれへの新代まんとし

右大臣御軍保家光

あふらふあうぬあうゆき

尾羽大納言源義直

あふらふあうぬあうゆき

紀伊権大納言源光直

あふらふあうぬあうゆき

後河内権大納言源忠長

あふらふあうぬあうゆき

水戸権中納言源頼房

あふらふあうぬあうゆき

関白右大臣源頼朝

あふらふあうぬあうゆき

右大臣兼遊一 信房

あふらふあうぬあうゆき

信房

あふらふあうぬあうゆき

あふらふあうぬあうゆき

あふらふあうぬあうゆき

あふらふあうぬあうゆき

あふらふあうぬあうゆき

あふらふあうぬあうゆき

あつたあつた勢のそと後をき代も

一急なりをりあ初乃くれけ 水戸権中納言源頼房

ゆく千代とらさひてもなぬくれけけの

かろくぬけけぬくれけのまん 関白左大臣源頼朝

兼代もつらぬけけのり 國たふの

あひくすくやをれくれけ 後一位源頼朝 信房

ゆくふとせ悪のえんふきためし

権中納言源頼朝

いとせも繁し人ぬけけ乃つらうひて

右大臣兼進一兼

かきりあれた代よりさくらん八子年と

平頼朝

いくみ年ちまりあうくきたけの

八兼

ゆきささあはくならうくれけけの

高松

よう川の國を皆あひく世ハ

後一位源頼朝

初末此君りさう人さうろひの

九兼

こへあるけや子代とあうん

内大臣兼通

くれけの兼代けてちさふて

二兼

君り御華れかきりあうきぬ

中宮左大臣源実朝

ふこの秋あひせぬやとくれけけけ

西三兼

あめりあうれとのけあひあせて

鳥丸

さくら子世ませやとの共弁

左大臣源頼朝

すゑと成さ流代とあるあうん竹の

喜見子

かりぬえと君りらたて

右大臣源頼朝

うむちるれあう流代あるあひもや

九兼子

けああり月れそのくれたけ

権中納言源頼朝

りろし人ぬまつれよあうへみん

源子

とらりの竹乃万代のけ

源頼朝

とらるあうまののちあうとさきて

柳兼

きとそみん初乃たけ乃うてあひ

基詩

あきくかそあ子代の初す人

後一位源頼朝

年毎り初さうてくれたけの

西園寺

世このちまりと君そあうん

後一位源頼朝

植そくてあ城舞のよまど城ま

苑山院

みきあのけ乃ら流代まて

権中納言源頼朝

かきぬあ流代幸乃秋とくあ代と

妻持

ちさりけくみんをのくれけ

権中納言源頼朝

まろ成らうとあうまてあう

菊亭

よくとあうまてあうまて

と次はあつたまのてはまを日きてくふ  
柳系

なれよりほよせけりちきぢん衣を添指中為若原  
基詩

きこそみん初乃たけ乃ちてせひ  
後一位若原実益

おきそ加そおれ子代の初す人  
西園寺

年一毎り初さうてくれたけの  
後一位若原実益

世くのちまりと若そ志るらん

植そへてあ城舞うてよ味と成ま

みきまのくけ乃りち所代まきと  
指大納言總光

加さぬへ美清幸乃秋まゆくお代と  
重指

ちさりけくみん意のくれけ  
指大納言宣季

まろ成るうとまハひまうとあふ是成  
菊亭

よくと子為れ兵にちさりて  
中納言実顯

た徳せ一お八千と世まもるくれたけの  
阿野

よまいと若しちさり幸ハ  
皇藏軍相若原光賢

石清水まめゆと時や子代とるん  
鳥丸

うてこの竹とけふひくなり  
中納言

すゑと成く万代まきとさゆらん  
冷泉

くけと志る魚に一美志ま此みち  
侍從若原忠定

若も良もくふと少きと若兵乃  
清水若

よいおあめてやらさり置らん  
御儀伯稚藤玉

くれたけ此かりぬけお今まりの  
中宮大進若原経度

きこらちと世を悦まきおあま  
勅隆寺

若う代ハ初にうあくれたけの  
少納言若原為通

おはまきる世代のれめをひくうある  
若原

竹の繁し人ぬつらよらき若ん  
指小納言親顯

うらとてお子年とめてはとの志  
如鳥

みきとまらうり産のくれけ  
指中納言若原元親

兼代とさのそん宿のゆけの  
中ノ山

こさかと若ふけてちさらん  
指大納言若原實勝

ちさりをうん若う子年と初す人  
月覽

まくなつ竹とため一とまて  
指大納言若原云益

らふしちも若ふひうまてくれけの  
西園寺

子初を初や子世をうさねん  
中納言若原宣衡

子代とまき若りよりいと具衆乃  
中ノ山

ゆくまへけて初やちさ若ん  
侍從若原基定

子世よな振ひく子代うてたけ乃衆れ  
持明院

くすうやとらんまきのよまひハ  
具起 若金

くう若のよまひにちされけあり  
少納言若原為尚

子為れ竹のちよのゆくす人  
下冷泉

さう人ぬ見きりのたけをたよりて  
中納言若原泰重

ひくある世代乃若人そ久き  
中納言若原泰重

持大洲云云  
日月

ちきりをうん思の子年と初すんを  
持大洲云云  
西園寺

もくたつ竹とためしとて  
申浦云云  
申一佛門

くふしちも思ふひうきてくれけの  
持大洲云云  
持大洲基定

子代をばや子世をうさねん  
持大洲云云  
持大洲基定

子代をばや子世をうさねん  
持大洲云云  
持大洲基定

子世よな振ひく子代うへてたけ乃棄れ  
持大洲云云  
持大洲基定

くすうやとらんきとのよまひハ  
持大洲云云  
持大洲基定

くす思のよまひにちされけありた  
持大洲云云  
持大洲基定

子為れ竹のちよのゆくすん  
持大洲云云  
持大洲基定

色うへぬ見きりのたけをたよりて  
持大洲云云  
持大洲基定

ひくある所代乃まへそ久き  
持大洲云云  
持大洲基定

世くと纏てつらまかりぬくれけを  
持大洲云云  
持大洲基定

思うよまひ乃たけしそ思ふ  
持大洲云云  
持大洲基定

わらきこのちよ方代と一か一れ  
持大洲云云  
持大洲基定

このめそあひをよされ是矣  
持大洲云云  
持大洲基定

國民乃あらちと竹をまひあ合て  
持大洲云云  
持大洲基定

子代をばや子世をうさねん  
持大洲云云  
持大洲基定

君とあはれちりててよまうへぬ  
持大洲云云  
持大洲基定

こきり乃てけし八子代は  
持大洲云云  
持大洲基定

色うへぬ見きりのたけをたよりて  
持大洲云云  
持大洲基定

あまきさる子世と君うかそ思ん  
持大洲云云  
持大洲基定

まかりくばそよけのせくと思ん  
持大洲云云  
持大洲基定

君のよりひ乃ばや也す思ん  
持大洲云云  
持大洲基定

あまきさる子世の御華うあひ竹乃  
持大洲云云  
持大洲基定

よく有な君う代くれす思  
持大洲云云  
持大洲基定

よになひきあは乃次めは  
持大洲云云  
持大洲基定

ま子代えかりぬ清代りちきりなまて  
持大洲云云  
持大洲基定

ともみさうまをばくれけけ  
持大洲云云  
持大洲基定

とこやうにくとらわらこれたけの  
持大洲云云  
持大洲基定

よこよや子代と思そあそ思ん  
持大洲云云  
持大洲基定

けす思と思ふとひきしつあまるん  
持大洲云云  
持大洲基定

よまひとられるよまの思矣  
持大洲云云  
持大洲基定

あはのあもふ生そよ竹のけまて  
持大洲云云  
持大洲基定

君の年乃つらそあも思  
持大洲云云  
持大洲基定

子幸しも加わつねまど君の代れ  
持大洲云云  
持大洲基定

ためしあうつらよとれ是矣  
持大洲云云  
持大洲基定

代こふあみさるの竹やよさうこの  
持大洲云云  
持大洲基定

雪乃えとつらよらちり思らん  
持大洲云云  
持大洲基定

あまよりれ御華にあまんしうらとみ  
持大洲云云  
持大洲基定

子代とこめしつらつら  
持大洲云云  
持大洲基定

持大洲云云  
持大洲基定

持大洲云云  
持大洲基定

として中らにうをらわられられたけの  
 義尊 実徳院  
 けすをと思ふとひききりてあまらぬ  
 崇尊 崇徳院  
 あはのちも小生そふけのけりまてと  
 沙門 覚定  
 君の年乃つらそあもき 沙門 覚定

子幸一も加わらねまを君の代れ

たのふうあふよとれ号共 寛真 之寶院 勤修寺

代こふ美みききの竹やしきうこの

宮乃をとりよりさり並らん 業門回室 西洞院入道

ひまよりれ幸れあまんしうとふ

子代とこめたる好乃むむしけ 堯然 妙法院

ひくあうとさきああうはあひはく

足さりの竹をゆく子代とあん 尊寛 一乘院

子幸一あふ松とあふくあはあ

世くう一つきせね君のちさりい 良光

秋津列のかまき清代を悦うる

かりぬけとたのめいふ 乃晃 聖徳院

代こけそくをらわられられたけの

未分城ととさきちきりあふき 乃田 照言院

あうんせぬけとたのめいよ親君乃

あさめあふきのまそ久き 完胤 権井

子君ある足さりのけ乃代くとあ

かりぬけを君うあふき 公海 昆河門考

右以上六指二番之安書哥人次第不同

八日 清馬

九日 清馬

山村の勲者 あいこ

を海くたうて人のあゆんさうハまのつとふとと天下あ  
 けとあふうてうあふく勲章を名とこうたいしけくへ  
 こりまてや今ハとくたくのあつとさくと重陽はさける  
 さくの露はもつてうてひくよのふらとあふりーせい  
 のんれ志けきこと四つの時うらぬまのけりあふの  
 ねも子幸一乃秋とあふ古今りあふひあれた君う代乃  
 めてにりりあふ対とりや

三十一 大 かねく 徳 又三郎

七郎 新九郎 右 左者

四村 善哉 長瀬の 長茂

七太夫 又四郎 長茂

源氏供養 権助 新九郎 長茂

三十一 又二郎 長茂



一 三子く羊虎のもろけりの金を物へあはきりて  
 一 浄物末 内からし二日くたよあ一比きまきりて  
 一 浄物方 二つあり 一文字 杉平 きんらん乃あく  
 一 浄馬 十子くいくたよ ちよ入内箱志よ同  
 一 浄ハ縁だらうん のくらまろろくあり

一 浄物方 大一つ銀 一 ちくのうろろろ一川 金  
 一 浄乃らうそくま 金 一 ちくわくのうろろ 同  
 一 浄をり銀化危入 一 浄すくまの銀二つ 古きまきり  
 一 浄うろ二つ銀 一 浄うろろの銀をん 三十粒  
 一 浄いす回けかまきり 一 浄ふろ 一 浄まあきり  
 一 浄水きり 一 浄茶うん二つ 一 浄つめ 一 浄いり  
 一 浄くつき 一 浄んまきり 大何とみあまきり  
 一 浄しすの浄膳乃を一膳前小粒七十三つ肉うまろろ二川  
 一 浄ろろ子の内膳れを四膳あ 太同あ  
 一 浄重すくまきり志あ一地金あふろの可あ  
 一 浄まきりまきり志あ  
 一 浄上

六浄一取捨くろりの浄を物

一 浄物方 金 金作一勝内箱志まきり志あ一地金あふろの  
 一 浄物方 さん乃お付付 一 浄うろろの浄うろろの浄  
 一 浄かろノまきりめつれ 一 浄茶葉女さの宣あつて筆  
 一 浄まきり 一 浄物りつれをろ一地たのまきり志あり  
 一 浄まきり 十まきり志あろろのまきり入りく一尺六寸  
 一 浄まきり 長き二尺五寸一尺五寸あり  
 一 浄まきり 五まきり一ろかね大をろめ又川又入  
 一 浄まきり 六十まきり大箱が二よへられまきのあまきり  
 一 浄馬 又也あまきり 一 浄いりす 百まきり  
 一 浄あまきり 百まきり比高箱志まきりしうまきりいの長指  
 一 浄金子 又まきり 女まきりよへゆたんろろわ  
 一 浄あまきり 同浄置換ろろわ  
 一 浄あまきり 三十まきりろろ三まきりあ一地くろろまきり志  
 一 浄あまきり 又百まきり まんめまきりいゆたんろろわ

浄一取捨へ 浄置換ろろわ

一 浄あまきり 五十まきり一地まきり志まきり志あ一十まきりろろ入  
 一 浄いり志 百まきり 一 浄番 百まきり銀のれあまきり  
 一 浄まきり 又十卷 一 浄いり志まきり志あ  
 一 浄まきり 又まきり志あろろ子のなろろめ二よ入  
 一 浄院振へ 將軍振ろろわ  
 一 浄太同あ



一内馬 五匹あはくせに 一ひりんす 百まき  
一内あ 百まき 比高ぬきまきしんくまういの長持  
一金子 貳ふま 女さかへゆたんりうわ

同治豊後より  
一内あ 三十まきりり三さがあ地くつりまはる  
一志あきん 三百ま まんめまういゆたんりうわ

中一宮様へ 御軍様より

一帳 子敷  
一内あ 五十まき 地まき志長持十まきり入  
一内しき 百まき 一沈香 百まき 此あまにのく  
一ひきや 五十巻 一白りんま五十まき  
一志あかうこまき志らう子のなつめこまき入  
女院様へ 將軍様より

大回あ

女一宮様へ 御軍様より  
一帳 三百敷 一まきらん 持まき  
一内あ 三十まき 地まき志らうりめりこまき入  
女二宮様へ 御軍様より  
一帳 二百敷 一内あ 三十まき 地まき志長  
中宮様へ 大徳兩様より 特よ  
一帳 五百敷  
一内あ 町あ 地まき志長持みり入  
一ちんあ 一志めま 御持まき  
一まき 五十まき 一ちんあ 子の籠まきりよのく  
女院様へ 大徳兩様より  
一帳 五百敷  
一内あ 三十まき 地まきへまち五つ入  
一ちんあ 一志めま 五十まき  
一まき 五十まき 一ちんあ 子の籠まきりよのく  
女院様へ 大徳兩様より

一帳 百まき 一内あ 亦長持入  
一内あやけ 一内いふたうく  
女二宮様へ 大徳兩様より  
一志らう 百まき  
一内あ 亦あうちり入  
一内あやけ 一内いふたうく  
一内あやけ 一内いふたうく

棟紳一様へ

一砂金 三十枚 一内あ 三十  
紳一宮様へ しろく 御様より  
一志あきん 女まき 一内あ 女  
女院様へ 女  
大回あ しろく 御様より

一 指 百まゝ  
 一 指 あやほり  
 女二まゝさへへ 大津取さへより  
 一 志ろく 百まゝ  
 一 津く 女あやほりへ入  
 一 津あやほり 一 津ひいふたろく  
 一 津ひいふたろく

一 鉢金 三十枚 一 津く 三十  
 一 津く 三十  
 一 志やきん 女まゝ 一 津く 女  
 女院様へ 女まゝ 一 津く 女  
 女院様へ 女まゝ 一 津く 女

女一まゝさへへ 一 津く 女まゝ  
 一 津く 女 一 津く 女まゝ  
 女二まゝさへへ 女まゝ 一 津く 女まゝ  
 女二まゝさへへ 女まゝ 一 津く 女まゝ

女同お 女同お

乃幸乃何云云云云へりて津大分覚

近津殿	雲次	鳥丸大納言	守家
一条殿	守家	延喜寺宰相	准慶
二条殿	安借	清和寺大納言	信包
九条殿	仍平	仁達中納言	守家
舊月殿	長光	柳承宰相	則宗
八条殿	助吉	花山院宰相	延喜
伏見殿	信國	自衛大納言	仍平
高松殿	次吉	伏見くさ言	助依
寧目及承使不	國村	西洞院宰相	長光
九条及承使不	守家	中津門中納言	助衣
中院殿	東國光	水無瀬宰相	長光
花山院殿	守家	鳥丸及弁	長光
菊園及承	西國優	中津門殿	彰若女
日野大納言	菊光	白川殿	西蓮

以上合各指二あり

太皇太后二條へて七日よ御軍持より所の八さんは

○清持家へ

一 指 三百枚

一 小袖二十 全書

一 指 二百枚

一 小袖二十 九条

一 指 二百枚

○清花家

一 指 百枚

一 小袖十 西園寺

一 指 二百枚

一 小袖十 三條大納言

一 指 二百枚

一 指 二百枚

一 指 二百枚



同	三寶院	同	
一 張五十枚	勁修寺	同	馬内寺
同	東德院	同	若方所
同	実相院	同	氷井寺
			冷泉寺
			勁修寺

一 張五十枚	六条少将	一 張十枚	如富少将
一 小袖十	山科少将	同	園少将
同	出内門中	同	東坊城少将
同	中院侍	同	倉田少将
同	三条侍	同	五条少将
同	丹羽式部	同	河内侍
同	久我中	同	平松侍
同	月野中	同	丹波寺
同	藤井侍	同	冷泉少将
同	三条侍	同	樋口少将
同	若菜本	同	西坊城少将
一 張三十枚		同	小河坊城
一 小袖十	五辻右兵衛	同	越前侍
同	中山中	同	後小治少将
同	鴨庄三佐中	同	清宗寺
同	膳方中	同	坪小治少将
同	竹内形	同	妻木侍
同	大願院門	同	三辻侍
一 張二十枚		同	目黒右兵衛
一 小袖五	深野井中	同	西洞院
同	丹波寺	同	町園侍
一 張三十枚		同	万屋小治
一 小袖十	角世形三位	同	久世少将
同	園中	同	新波侍
同	白河二位	同	持明院
同	清水首侍	同	中川侍
一 張十枚	正親町中	同	花園侍
同	権井中	同	小倉侍
同	水屋中	同	中德門
同	桑名中	同	

一 張二指

一 張十枚

同	伯侍	同	
同	阿達侍	同	立入河内
同	裏辻侍	同	同あき
同	揚本侍	一 張十枚	速山寺門
同	油小路侍	同	山形右兵衛
同	多奈侍	同	恩本寺
一 小袖五	正親町	同	森院

同	白河二位左	同	新波侍候との
同	清水若侍候との	同	持明院侍候との
同	正親町中侍候との	同	中川侍候との
同	権井中侍候との	同	花園侍候との
同	水島中侍候との	同	小倉侍候との
同	坂中侍候との	同	中渡門在普侍候との

一 張二指敷

一 張十枚

同	正親町侍候との	一 小袖三門	森儀お
同	多倉侍候との	同	思本英徳
同	油小路侍候との	同	山形右左衛門
同	橋本侍候との	一 張十枚	速山右門
同	裏辻侍候との	同	同あき
同	河原侍候との	同	立入河内
同	伯侍候との	同	川橋佐四
同	若倉侍候との	同	世徳在需對
同	唐橋武平との	同	大原左馬太夫
同	権井侍候との	同	松波元九郎
同	西大路侍候との	同	大外記

一 張五十枚

一 小袖五

同	唐橋侍候との	同	古山操河
同	目形侍候との	同	桐子左衛門
同	屋下侍候との	同	同重膳
同	七条侍候との	同	三上日向
同	治平太夫	同	桐子左衛門
同	まん丸	同	同お監
同	大せん丸	同	村雲徳前
同	源正彦田丸	同	世右判左
同	克系太夫	同	寺河井院湯乃
同	兵甲太指	同	武田兵左
同	初孫仲養	同	お羽若良
同	右京太夫	同	同お監
同	極齋	同	明金玄藏
同	清茂人	同	大西宗女
同	塩小路茂人	同	小野源正
同	倉橋茂人	同	井安飛了
同		同	吉田吾平

一 張十枚

同	修理太夫	一 張十枚	おまへく
同	西登文内	一 小袖二	あちや
同	松下民平	一 張五百枚	熱中へ
同	西宮主左中宮様	女中	五へ
同	羽倉内記	一 張五十枚	
同	鴨子膳	一 小袖十車	指大納言
同	周橋本工	同	新大納言



同 庭ま いせよの 同 月 月  
 同 同 ちりけよの 同 同 同  
 同 同 ちもつけよ 同 同 同  
 一 銀十枚あへん 同 同  
 一 小袖二 ちりめひ 同 同 同  
 同 同 おきい 同 同 一 銀百まへ熱中へ

北宮様 女中芳へ

一 銀五十枚 一 小袖十車 中納言  
 一 銀五十枚 一 銀可敷 同  
 一 小袖十車 中納言 一 銀可敷 同  
 同 ちりあこの漬方 一 小袖十 同  
 同 車 ちりあこの漬方 同 同  
 一 銀可敷 同 同 同  
 一 小袖五あへんおまんね 一 銀可敷 同  
 同 同 ちりあこの漬方 一 小袖十 同  
 同 車 やくちりあへん 同 同  
 同 同 ちりあこの漬方 同 同  
 一 銀十枚 あへん 同 同  
 一 小袖三 あへん 同 同  
 同 同 おきい 同 同  
 同 同 おきい 同 同  
 同 同 ちりあこの漬方 同 同  
 同 同 ちりあこの漬方 同 同  
 同 同 ちりあこの漬方 同 同  
 同 同 ちりあこの漬方 同 同  
 一 銀十枚 おちり 同 同  
 一 小袖二 おちり 同 同  
 同 同 おちり 同 同  
 一 銀百六十枚 おすんへん一銀八十まへ 同  
 同 女中九人 同 同  
 女中八人 同 同  
 女中八人 同 同

水引奉りてゝおきいおきいおきい

一 紫守様

一 中文様 同 女中芳共小 酒井維也次  
 一 女院様 同 女中芳共小 土井大炊次  
 一 姫室様 同 女中芳共小 松平右衛門太夫  
 同 女中芳共小 中村本工右衛門  
 同 女中芳共小 弓矢三右衛門  
 同 女中芳共小 赤味金右衛門  
 同 女中芳共小 赤川右衛門  
 同 女中芳共小 渡田次右衛門  
 同 女中芳共小 南宮五馬

女院様 女中

一 張又十枚

一 小神十車

一 同

一 同

一 同

一位

少一きの小治

くく小治

こくく

水引奉入ての 名 町 への 作付の 院

一 禁中様

井伊掃部少

板倉周防守

酒井雅重少

土井大炊少

松平右衛門 吉重

伊丹備前守

中 坊 近

小治遠江守

中村木工右衛門

石川三良右衛門

石味全右衛門

石川右衛門

石田次右衛門

南直馬

山田右衛門

觀音寺

新吉吉清

一 親王家

一 門下元

松平式部少将

松平因幡守

松平越中守

松平内膳正

水野隼人正

榑村清吉

松平右衛門

馬場夕玄

一 乙亥元

戸田周防守

五郎式部少将

中田藤原守

板倉伯耆守

溝口伊豆守

府田権助

長谷川成下少将

行相白膳正

行相出雲守

吉本氏下少将

若出羽守

石川伊豆守

小野越前守

若川守

板倉右衛門

一 地下元

竹中権左守

一 衆人

横山土佐守

野上淡路守

花房孫右衛門

小川又右衛門

末吉孫右衛門

松平丹波守

水野日向守

牧野藤河守

一 國持元



行相色膳正  
行相出雲守  
吉本氏了少将  
若出羽守  
小川伊豆守  
竹中権左守

一 衆人

横山土佐守  
小川又右衛門  
舟上淡路守  
末吉孫左衛門  
花房孫左衛門

一 國持元

松平丹波守  
森重元右衛門  
水野日向守  
菅原織初佐  
戸田左門  
中田下總守

一 大名元

保科肥後守  
恩田将監  
高力権左守  
愚田将監  
旗本辰守  
石原清左衛門  
篠口伯耆守  
山田長右衛門  
佐久右大膳正  
堀坂淡路守

一 様樂

赤松朝元  
小川忠危少将  
河内右左衛門  
平野若水

大内所振左大臣  
八月十九日小忠いりよとて阿野守納言  
首次中將右衛門助俊とて大政大臣と忠いり  
よと忠いりちたのあされい

將軍振右大臣八月十八日小内系内此時  
森重佐右中將元ハ侍從  
尾津中納言振同  
細川越中右同  
紀伊中納言振同  
系越右衛門同  
多戸守振中納言  
松平越前右同  
松平倭奥右同  
上松孫心右同  
松平藤左衛門同  
松平藤右衛門同  
伊達遠江守佐佐治  
松平左内右同  
伊達格戸右少将  
松平下野守右同  
中田美徳右侍  
松平下總右同

一 御献立次第

金さう

初献 古き一龜甲  
後乃うに 水直あふ  
二献 けつりまの  
三献 ちんちん  
三献 ちんちん  
三献 ちんちん

紀伊中納言換同  
高戸掌お振中納言  
松平倭奥守右同  
松平藤守右同  
松平藩守右同  
松平与伊右掌お元ハ侍返  
松平良内右 同  
松平下野守右同 同

系持お振右同 同  
松平越前右同 同  
上松孫正右同 同  
松平新左衛門右同 同  
伊達遠江守位侍返  
丹伊掾戸右少掾  
中田美徳右侍返  
松平下惣右同

伝献立し次第

金さうら

初献 古き一龜甲

清らうに

伝はあが

けつらまの

二献

くくけ

ふいそり

清らうに

くくすま

三献

きり物

鮎

七之膳し次第

神本膳

志不ひき

あくめ

やき物

あへませ

たこ

あけ

神二

あんらん

りまがこ

清け鯛

さめ

くくけ

清志るあつめ

神三

んむ

やき物

ういもり

す

かきう

清志る露 こけう

伝五

まさするめ

くくすみ

そのひて

伝志子

伝六 地紙書盛

りの

うろこ

敬捕三

くさこ

ますこ

清志るくく

伝六

まいま

とん

えぼくり

志いけり

伝志海鯉

伝七

あまもり

あ

いもり

清志るふふ一

伝八 目くちり乃ありは月多七ぬ三をりわく

伝九 目くちり乃ありは月多七ぬ三をりわく

あまもり

あまもり

の

伝十

あまもり

あまもり

の

伝十一 目くちり乃ありは月多七ぬ三をりわく